

有機農業・環境  
保全型農業部門

農林水産大臣賞

## 取組の紹介

# 津別町有機酪農研究会

所在地	北海道網走郡津別町
応募分野	生産
面積	438ha(飼料作物)
飼養頭数	約300頭(経産牛)
構成員	5戸
品目	酪農、飼料作物

## 有機農業・環境保全型農業に取り組んだきっかけ

- JAつべつを中心に、生乳の乳質改善に取り組む中、乳製品メーカーから、オーガニック牛乳の販売に向けた取組の打診があり、平成12年に研究会を設立。平成13年に有機による飼料作物の栽培を開始し、平成18年に有機畜産のJAS認証を取得。同年9月にオーガニック牛乳の販売が実現した。

## 環境負荷低減の取組

- 土壌診断に基づく土づくりを実践し、飼料作物の有機栽培を行うほか、動物用医薬品の使用を避けることを基本とした有機酪農を実践するために、細やかな飼養管理や環境整備等に取り組む。
- 地元漁協等と連携し、網走川流域の清掃、植樹等を行い、水質保全に取り組む。

## 効率的な生産に向けた取組

- 研究会内での飼料作物の生産に加え、イアコーンの栽培委託等を行うことにより有機飼料の原材料を確保。また、有機飼料専用の製造ラインを有するTMRセンターを整備し、有機飼料の安定生産を行う。
- 令和3年に研究会の会員3戸で設立した協業法人において、搾乳ロボット、餌寄せロボット、24時間監視システム等のロボットやICT技術を活用した有機酪農を実施。
- GPSの活用により効率的で正確な播種・除草作業が可能となり、飼料用トウモロコシの収量が安定化。

## 安定出荷・販路確保の取組

- 生産した生乳は、オーガニック牛乳として、道内スーパーをメインに販売。乳製品メーカーと連携した販路拡大を進め、令和4年には全国での販売に繋がっている。
- 有機牛肉としても出荷し、加工事業者と連携して加工品の販売(ビーフカレー、ミートソース等)を行う。

## 消費者等への情報伝達の取組

- 町内の小学校の給食において、オーガニック牛乳を提供するほか、中学生等の職場体験を実施し、有機農業の魅力を伝えている。
- 地域の祭りや都市部での展示会において、試飲会やPR活動を実施。



オーガニック牛乳



TMRセンター



餌寄せロボット等を導入した牛舎



小学校におけるオーガニック牛乳の提供